

看護大学編入 合格おめでとう！

●2011年

筑波大学医学群、山梨大学医学部、大阪大学、神戸市看護大学、名古屋大学、千葉大学、新潟県立看護大学、長野県看護大学、弘前大学、高知大学、静岡県立大学、横浜市立大学、神奈川県立保健福祉大学、東海大学、埼玉県立大学

筑波大学医学群看護学類 E・Mさん

今まで何回か大学編入学受験をしては、不合格を繰り返しており大学編入は諦めていました。

友人からS A Nの存在を教えてもらい、藁にもすがる思いで1月から通い始めました。

勉強と仕事の両立は大変でしたが、佐藤先生の授業は楽しくて寝られませんでした。また英語は、文型から始まり、基本を大切にしよう繰り返し説明を受けました。受験の際に、小テストと類似した問いや英語構文が沢山出題されて、「これだ！」と自信を持って試験に挑めました。

さらに、ここでは同じ夢を持った友人に出逢えました。支え合い、励ましてもらい、受験前日は涙しました。卒業後もずっと大切にしたいです。

S A Nには本当に感謝すると共に、次は大学院の入学でお世話になりたいと、また一つ大きな夢を抱かせてもらいました。佐藤先生はじめ、英語の先生、小論文の先生、本当にありがとう「夢は諦めたら終わり」と話す佐藤先生の声が、また聞こえてきそうです(笑)

山梨大学医学部看護学科 K・Fさん

私は、将来在宅で看護がしたいという思いがあり、そのために保健師の勉強がしたく大学進学を志しました。昨年も自己学習をして受験したのですが、失敗しました。自己学習の限界を感じ、友人からS A Nを紹介してもらいました。佐藤先生のような熱意のある先生に指導してもらえる事は大学受験だけではなく、これからの看護師人生にもプラスになると感じS A Nに入学しました。皆より、少し遅れた4月から本格的に通うようになりましたが、学びの多いものでした。また、同じ志しの友人からの様々な刺激が学習意欲を高めてくれます。仕事との両立は大変辛く、厳しいものでしたが、支えてくれる友人や先生があるので頑張る事ができました。

今回、合格できたのは佐藤先生はじめ諸先生のお陰です。本当にありがとうございました。

大阪大学医学部保健学科看護専攻

神戸市看護大学看護学部看護学科

名古屋大学医学部保健学科看護学専攻

千葉大学看護学部看護学科

N・Mさん

受験を志したのは、受験の半年前からでした。三交代勤務をしながらの半年間の受験勉強でしたが、S A Nの授業に支えられて無事合格することが出来ました。

英語では、毎回の課題で和訳するトレーニングをしたことでだいぶ力がつきました。そして先生の人柄に毎回勇気付けられて、授業に来るたび、モチベーションが上がりました。そしてあきらめず、目標に対してシンプルに努力する姿勢を学びました。小論文では、文章の書き方だけでなく、社会問題になっていることを多角的にみることを教えられ、更に一生を通して取り組みたい課題を見つけることも出来ました。そして、看護学の佐藤先生は、私のしつこい、基礎的な質問にも丁寧に教えてくださり、本

当に感謝しています。SAN でなら先輩、後輩も関係なく、分からないことを聞くことができます！根拠がわからなくてスルーしていた業務も、自信を持って出来るようになります。9年目にもなって、こんなことも分からなかったのか、と思いますが、SAN でなら、聞いてもそんなに恥ずかしくありません。分からないことが、分かるようになって、昨日の自分より一歩でも進んだ、という実感が毎週あり、仕事が楽しくなったことは思ってもいなかった副産物でした。

そして、仲間が心の支えでした。一人の力では、モチベーションを維持させるのは、難しかったと思います。SAN ですごした半年間はこれからの人生に大きな意味を持つと思います。

新潟県立看護大学看護学部 看護学科

長野県看護大学看護学部 看護学科

弘前大学医学部 看護学科

O・Sさん

私は看護学校を卒業して、7年間、臨床で勤務していました。気づくとあっという間に30歳手前となり、日々のルーチン業務をこなしているだけの現在の自分に迷いを感じ、今できることをしたいと考え、ホームページでSANを見つけました。

見学に行ったところ、アットホームな雰囲気と佐藤先生の生き生きとした態度に共感と励ましを得て、入学を決意しました。看護学の授業はテキストをそのまま、暗記するのではなく、原理や根拠を基にした説明をしてくれるので理解しやすく、濃厚な知識が学べました。また、授業を受けたことで臨床でも、今までとは異なる広い視野で援助することができ、役だてることができました。英語の授業は私の今のレベルの知識で、勉強についていけるか不安でしたが、先生の温かな、明るい授業で苦痛なく勉強に励むことができました。私は試験間近になると緊張とプレッシャーで精神的に不安定になってしまいました。その時に、先生の「最後まで自分の力を信じて頑張りなさい」という言葉に勇気づけられ、助けられました。また、同時に、同じ夢に向かうSANの友達の「一人じゃない、一緒に頑張りよう」という、力強い励ましがあったからこそ、最後まで挫折せずに挑めたのだと思います。

合格通知を見たとき、はじめは、信じられず、実感がわきませんでした。しかし、徐々に大きな喜びと共に、こんな私でも合格できるのだという、大きな自信につながりました。SANは、自分に自信のなかった私にとって、挑戦することの大切さとやる気を導いてく2交代制の勤務と勉強との両立はとても大変でしたが、いま考えると、何も考えずに勤務していた時より大きな成果が得られ、広い意味で充実していたように思えます。

今年は自分が成長する上で最も思い出深い、最高の一年になったと思います。SANで学んだことを励みに今後も頑張っていきたいです。

心からSANに感謝しています。本当にありがとうございました。

高知大学医学部看護学科

静岡県立大学看護学部看護学科

T・Sさん

高校時代に看護大学受験に失敗し、専門学校を卒業した私は、いつか大学へ編入したいと漠然と考えていました。入職して3年目に入った頃、仕事にも少し余裕が出てきて、その思いが再燃し受験に至りました。SANには1度、短期国家試験対策で佐藤先生の授業を受けたことがあり、テンポが良く根拠から理解できる教え方が私には合っていたので、今回もお世話になることにしました。英語の授業では徐々に英語に触れ、どこから手を付けたら良いか途方に暮れていた私を約半年で長文が読解できるまでに導いてくださいました。さらに、授業では同じ目標に向かい高い志を持つ仲間と学べたことがとても嬉しく多くの影響力を受けました。仕事と勉強の両立は想像以上に大変で、途中で退職を考えたことがあります。そんな時に先生方は親身に相談に乗って下さり、仲間が励ましてくれました。仕事も勉強も諦めずに合格を手にする事ができた時の喜びは格別です！

受験を考えているみなさんにもこの感動をぜひ実感していただきたいです。

嬉しいで～す (^ ^) 本当にお世話になりました。

横浜市立大学医学部 看護学科

神奈川県立保健福祉大学 看護学 E・Mさん

SANに入学をして、2交代の勤務をしながら最後の講義までしっかりと受講できました。

途中、夜勤入りや夜勤明けと全部の講義を聞けない日もありましたが、共に学ぶ友人からメールや電話での進行状況を教えてもらい、自己学習もできました。

SANの授業の素晴らしいところは、何といても佐藤先生が常駐していることだと思います。

講義終了後も質問にも笑顔で対応して下さり、さらには看護業界についての今後あるべき教育体制などを話し合うこともありました。これは、私たちが大学を受験するということが今後どういうことを目指さなければならないのかを、再考察するよい機会となりました。また、英語の授業は後半では過去問を使用して、実際に問題を解くことが大変勉強になりました。単に設問を解くのではなく、全訳をして設問を解くという繰り返しは本番での長文読解に安心して臨むことができました。さらに、小論文の授業では先生の説明により、自分の知識や視点をより深く、広くしてもらえたと感じました。

とにかく小論文は実際に書いてみて、先生に添削してもらいながらアドバイスをしていただくことで、自分の引き出しを多くしてもらい、今後は単に大学を卒業し保健師の免許を修得するのではなく、自分のしたい在宅看護をどのようにすれば達成できるのかを入学当初から持ち続け、大学入学後は勉学に励みたいと思います。先生、保健師国家試験対策講座を作ってください (*^_^*) 受講しに行きます！

東海大学健康科学部看護学科

神奈川県立保健福祉大学看護学 S・Aさん

高校の時に大学と専門学校どちらに入るか悩んでいました。専門学校に入ってから大学に行きたいなという思いがあり、SANで編入の講座をやっているということを知って通い始めました。私は唯一の現役生受講者で、実習中に土日、SANに通いつめて勉強をし始めました。

ここの看護学を受けて、学校で習ってきたこととの差に驚いたのと同時に、自分がついてかけるかどうか大きな不安がありましたが、一緒に勉強する仲間に励まされながら頑張っていました。佐藤先生の授業は自分では繋げられない知識をつなげて教えてもらえるので「あー、そうだったのか」と思う時が毎回ありました。この授業を受けてから知ることが楽しいと思えてくるようになりました。英語が一番苦手な分野だったのですが、とにかくわからなくても和訳をやり続けることで長文を見ることに耐性がつきました。小論文では書き方の構成や、図、グラフの読み方、考え方について教えていただいたので、文を読む時にもどこがポイントなのかを押さえることができるようになりました。

一緒に頑張った仲間と、最後まで気をかけてくれる先生がいたから合格がつかめたのだと思います。

私は一番出来が悪い子だったと思います (汗)。ここまでしてくださりありがとうございました。

神奈川県立保健福祉大学看護学科 O・Sさん

今年で、臨床4年目になりました。専門学校時代から保健師になりたいという思いを抱きつつも看護師国家試験との両立は難しく、保健師への道を断念していました。看護師として日々の仕事に慣れていく中で、また保健師になりたいという思いが蘇っていき、編入学試験に向けて独学で二度に渡り受験を試みました。が、合格通知が届くことはありませんでした。そんな中、職場の先輩にSANを紹介して頂いたことで佐藤先生と出会うことができました。

佐藤先生の人柄は紹介してくれた先輩から聞いていましたが、実際に先生と会話を交わしてみて、エネルギーギッシュな佐藤先生に衝撃を受けました!!

受講を始めようとしていた当初は、自分には仕事と勉強の両立は出来ないだろうからと、それまでの職場を退職し、勉強一本にしようとしていました。しかし佐藤先生の言葉やこれまでの SAN の先輩達の残した実績に勇気づけられ、仕事と勉強を両立していくことを決意しました。ですが、仕事と勉強の両立は、思いのほか大変で、何度も『もう辞めたい』とネガティブになりました。三度目の挑戦にして、ようやく合格への切符を手にしたのは SAN の先生方と一緒に学んだ仲間たちのおかげだと思います。なかなか結果がでず、なんども心が折れそうになった時に、佐藤先生からいただいた大切な言葉があります。

『普通の予備校では講師は講義をするだけ、事務は手続きをするだけ、それでおしまいですが。でも SAN は違います。予備校ではあるけれど、ここは学校です。あなたたちの岐路に関わる学校なのです。見捨てません。必ず人生を開く支援をします。』この言葉は本当です!!

今、私のように進学したいけど、はじめの一步が踏み出せていないあなた、受講云々は二の次で、とりあえず佐藤先生に出逢って下さい!! 新たな道が必ず開けます☆

千葉大学看護学部看護学部 N・Mさん

千葉大学合格に合格できたのも SAN でしっかり受験のコツを教えてもらったことが大きかったと思います。勤務や実習をしながら受験勉強をするのは時間の面で大変です。その中で小論文の書き方を一から勉強することや看護の教科書を隅々チェックして、どこが大事なのを選別し、それはどのように出題されるのかを把握するのは半年の期間では難しいと思ったので SAN に入りました。

SAN では出題傾向は勿論のこと、過去問提供や SAN の卒業生による受験勉強の仕方や大学の校風紹介なども充実していました。また毎月発行される「見てらす」では医療看護の社会的なニュースについての情報が得られ、新聞やニュースを見る時間がなかったので助かりました。小論文や面接のネタとして受験に必要な事を効率良く教えてもらったこと、そしてもうひとつは先生方からの励ましや受験仲間に支えられたことが大きいので毎週予備校に来て仲間に刺激を受けたこと、心折れそうな時に聞いてもらったら、みんなも同じ思いだった!ということ。

授業の合間に時々先生が談笑する時間を設けてくれたことで授業がより盛り上がりました。大切な言葉を沢山頂きました。これがモチベーションとなり、最後まで受験を乗り越えました。受験は短期間でしたが、これからの人生に於いて大きく意味を持つ期間だったと思います。

●2010年

山梨大学、神奈川県立保健福祉大学、静岡県立大学、東海大学、群馬大学、新潟県立看護大学、長野県看護大学、筑波大学、金沢大学、大阪大学、名古屋大学、

山梨大学 看護学部看護学科 M・Nさん

私は、専門学校に入学した当初からずっと“大学に行きたい”という思いがありました。その思いは漠然としたもので、気が付くと私はすでに3年生になっていました。「ああ、もう大学受験になんて間に合わないよなあ…」と半ば諦めの気持ちで、一年課程の助産師養成所受験をと考え直し、5月から SAN に通い始めました。しかし、友人や先生に相談しているうちに「まだ行けるかも…!」と感じ、再び大学を目指すことに決めました。スタートが遅かった私は、平日は実習・学校、土日は SAN に通う日々が続きました。このように聞くと、つらそうと思われるかもしれませんが、慣れてしまえばこの日々が普通なのだと思えてきます。実際に思うような結果が出なかった大学受験では、気持ちが負けそうになり、とても落ち込むこともありました。しかし、山梨大学から追加合格の連絡を受けたのです!本当に信じられませんでした。大学に行きたい思いを捨てずに今日まで続けてこれた事、それは私を支えてく

れた両親、一緒に学んできた友人ら、何より熱心な受験勉強・指導して下さいました先生方がいたからです。本当に感謝しています。

何事もやってみなくては結果はわからないもの!! 踏み出す勇気とがんばりが必要なのだと思います。是非、編入を考えている皆さんにも同じ喜びを味わってもらいたいです。

神奈川県立保健福祉大学 看護学科

静岡県立大学 看護学部看護学科

東海大学 健康科学部看護学科 M・Mさん

臨床 10 年目、漠然と保健師になろうかな? と考え、インターネットで予備校を検索し、SAN と出会いました。少人数である事・先生とお会いしてお話を聞いた時、ここに通えば合格できる!! と感じ、SAN に決めました。

看護学の授業では、ただ暗記するのではなく根拠から理解する今までに受けた事のない授業で毎回楽しく、どんどん吸収出来ました。それと同時に、私の今までの臨床の知識がいかに浅く薄っぺらなモノであるかを実感させられ、情けなく感じ、かなり落ち込みました。しかしその事が、私の看護に対する考えを変え、最終的には大学編入の志望動機となりました。英語・小論文は現役を離れ、時間が経ちすぎている為、1からのスタートでしたが、与えられた課題を確実にこなし何とか受験に間に合わせる事が出来ました。正直なところ、仕事と受験勉強の両立は大変でした。辛くて何度も泣きそうになったり、不安と焦りで眠れない時もありましたが、受験を諦めようと思った事は一度もありませんでした。それは漠然としていた大学編入への気持ちが SAN に通っていた受験勉強期間、最短で倍率 8 倍の第一志望の大学合格まで導いて下さった先生方、ありがとうございました。

群馬大医学部保健学科看護学専攻

新潟県立看護大学 B・Nさん

平成 21 年 9 月 25 日…私にとって忘れられない日となりました。私が群馬大学の繰り上がり合格者と知ったのは、母とお墓参りに行く途中のサービスエリアのトイレの中でした。「あなたが群馬大学の追加合格者となりました。」と聞いた途端、涙よりも手の震えが止まらなくなり、夢かもしれないと何度も頬をつねり、何がなんだか分からなくなってしまいました。これが、実感が湧かないということなのでしょうか…

試験当日、看護学は自分でもよくできたと思っていました。特に最後にある小論文には自信がありました。しかし、英語が…。時間がなくて必死で和訳していた状態であったし、面接は、あまりの緊張で、自分の思いが伝えることができず、悔いの残る内容一番行きたかった大学ただだけに、切り替えがなかなかできず、ようやく次の目標へ動き始める矢先でした。

群馬大学の受験を通して感じたことは、英語でいかに他の受験生と差をつけられるかです。英語が大の苦手で、泣きながら長文を訳していた私が、英語の試験中、もう少し勉強していればなあとどれほど思ったことか。編入試験の鍵は、英語が握っているといつも先生から言われ続けていましたが、試験のど真ん中でしみじみ実感しました。まだ、群馬大学に合格したことが信じられません。入学したら、いっぱいいっぱい勉強していきたい。夢がいっぱい膨らんできまこの合格は、佐藤先生をはじめとする諸先生方、一緒に学んで来た仲間の支えがあったからだだと心から思います。この合格を何より喜んでくれたのは両親、今まで本当にありがとうございました。おかげで墓参りで祖母に良き報告をすることができました。

長野県看護大学 看護学部 S・Eさん

私が大学進学を目指して SAN に通い始めたのは 4 月からでした。既に進学コースはスタートしていた

ので、少し遅いスタートでしたが、SANの授業はとても楽しかったです。テキストもギュッと凝縮されてムダがなく、使いやすく実習のアセスメントもこれ一冊でOK！また、国家試験対策にもバッチリなので教室に持って行くとクラスメートがよく借りに来ていました。

実習中は受験勉強との両立が本当に辛かったです。記録や事前学習に追われてくじけそうになることもありました。しかし、SANに来て、一緒に机を並べて勉強している仲間のモチベーションの高さや、佐藤先生のキャラクター、何よりも私たちを受からせたい！という佐藤先生の気持ちがいつも私を支えてくれました。このような恵まれた環境に私はどんどん触発されて、私の夢もみるみる膨らみ、いつしか大学進学その先までじっくり考えるようになりました。勉強の楽しさや、それが与えてくれる無限の可能性をSANに来て感じました。全国各地にいる先輩方のネットワークも心強く、実際に試験を受けてみて、SANで求められてきた事がいかにハイレベルであったか実感しました。どんな試験も面接も私は頑張ってきたんだという自信が試験に負けない度胸をくれました。

そして勝ち取った合格！うれしかったです。本当に！本当に！！SANに来て、先生や、一緒に頑張ってきた仲間がいなければ今日の合格はつかめなかったと思います。

ですから、これから受験を目指す人も、まだ迷っている人も、そうでない人も、ぜひ一度SANに来てほしいです。そして自分の中にある可能性に気付いて欲しいです。

夢が現実になる場所、それがSANなのでから。

長野県看護大学 看護学部 O・Kさん

大学に編入したいと思いながら、専門学校に通いながら、どう勉強しようか迷ってる時に、SANで大学編入講座があることを知りました。看護学は、佐藤先生について行けば大丈夫だと思っしかし、私は英語が大の苦手、三人称単数ってなんだっけ??というレベルでした。

実習を行いながら、受験の勉強をやって行くのは、時間の使い方が難しく、これで本当に合格するレベルまで自分をもっていけるのかと、日々不安でした。

佐藤先生の言葉と英語の先生の言葉に励まされ、その言葉を信じて最後まで諦めず頑張ってきました。合格していると知った時は、自分の受験番号がっているのかと、不安になるほど信じられませんでした。今まで一生懸命やってきた事がやっと結果として出せた時は、本当に喜びと感動でいっぱいでした。先生が出ると言った所は、試験に必ず出ます。そこを自分の知識として確実に一つ一つ定着させていく事が、大切だと感じてSANで勉強できて、本当に良かったです。ありがとうございました。

筑波大学医学専門学類看護学類

金沢大学保健学類看護学専攻

大阪大学医学部看護学科

名古屋大学医学部看護学科 T・Yさん

勤務から帰宅し、封筒を手にした時「分厚い！まさか!？」と驚きました。

中には合格通知書と入学案内…本当に合格したの？

夜勤明けで夢を見ているのでは、と本気で思いました。何度も名前を確認し、受験票の番号と見比べ、大学のサイトで番号を確認して、ようやく合格したんだとの実感が沸きました。看護学校入学以来、くすぶっていた大学で学びたいという思い。2年間職場を離れてまで進学すべきか、かなり悩みました。しかし自分が10年後、20年後どうなっていたいのかを考えた時に、今しかないと考え編入学を決意しました。

大手予備校で、「三交代勤務での編入は難しい、仕事を辞めた方がいい」と言われた時はショックでした。昨年編入学に合格した友人からSANを紹介されたのは、そんな時でした。

佐藤先生は、仕事は続けて効率よくやりましょう、合格させますと力強く仰ってくださいました。先生

と話しているだけで『自分は合格できる。』そんな気持ちになってしまった私は、すぐに SAN への入学を決めました。看護の佐藤先生は臨床経験も長く、「なぜ、こうなのか」という根拠を説明してください。これは受験のみならず、臨床の現場にもすぐに活用できる内容です。

英語は毎回の講義のなかで、中学英語から編入受験に対応できるレベルまでをポイントを押さえながら進めてくださいます。長く受験英語から遠ざかっていた私にも、文法から長文読解まで分かりやすい講義内容でした。先生が教えてくださった筑波過去問に対する答え方は、受験本番で大いに役立ちました。また、よくいわれる事ですが看護編入では小論文や面接において、医療従事者としての資質や思考力を問われます。小論文の先生は、論文の構成の仕方といった基礎的な事項から、真に出題者が問いたい内容は何か、医療者としての視点から回答事例を示してください。課題の範囲が大きいと、何を答えてよいか分からず途方にくれてしまっていた私に、道筋を示してくださったように思います。

私が SAN の先生方が好きな理由は、確かな講義内容だけではありません。

時に講義中や、講義が終わった後の雑談の中で、先生方の豊かな人生経験に基づいた看護や医療、その他諸事への考えや思いに触れる事ができ、刺激を受けます。話題も受験に限らず、広い視野をお持ちなので話していてとても面白いです。SAN での仲間たち、同じく働きながらの受験生、実習をしながら受験をする現役生、違う職種から看護を志す仲間。みんなが頑張ってるんだから、私も頑張らなくっちゃ、と励みになりました。そして何より、受験を応援してくれた家族に感謝します。私を支えてくれて、応援してくれて本当にありがとう。

SAN で受験をして本当に良かった。SAN の講義は受験のための知識だけではない、今後の人生に役立つ内容が含まれた講義だと思います。ありがとうございました。

筑波大学 医学専門学類 看護学類 N・Hさん

受かりました！筑波大学！3年前の私には考えられないくらい、信じられない出来事が起こりました。高校生のとき国際ボランティアを勉強したく大学受験に臨み、見事ツル〜ンと滑って、看護学校へ…。看護学校へ入学後も、漠然と大学に行きたい、編入したいと思っていました。SAN に初めて来たのが、専門学校2年生の冬。「今からでも間に合いますか？」と直接話を聞きに行きました。そんな時、佐藤先生は「もちろん間に合います。大学に行きたいなら絶対に行くべき！あなたなら受かるよ。」と言ってくれました。学校の中で編入仲間がいなくて、不安に思っていた私は、先生の言葉にほっとして思わず、涙を流してしまいました。でも、あの涙が嬉し泣きに変わったことは本当に、人生で最高の瞬間でした。

SAN の先生方は根拠を教えてください。小論文の先生は文章の書き方から説明してくれていたのので、試験中は迷わず書き切ることができました。英語の先生も基本を大事に教えてくれる先生なので、長文が読めるという実感が初めて沸きました！これだから、こうなるって勉強は、ゴロ合わせや単語を詰め込む勉強より時間がかかるかもしれません。しかし、試験中に頼れるのは自分だけ。だからこそ、根拠や基礎が大切なんだと今では確信しています。

ビルの小さな一室だけれど、中身は凄いエネルギーに溢れています。だから、「私はSANの生徒です。」って胸を張って言えます。SANに通って、大学受験して本当に良かった！

SANの先生方、家族、応援してくれた友達、色々な人に感謝しています。

本当にありがとうございました！

●2009年

山梨大学、長野県看護大学、筑波大学、横浜市立大学、秋田大学、京都府立医科大学、山梨大学、名古屋大学、長野県看護大学、群馬大学、埼玉県立大学、東海大学、神奈川県立大学、千葉大学、浜松医科大学、静岡県立大学、青森県立保健大学、岩手県立大学、弘前大学、聖路加大学、慶応大学、旭川医科大学、大阪市立大学

山梨大学医学部看護学科 S・Yさん

大学に進学しようか迷っていて、決断するのが遅く、私は3年の4月から入学しました。既に講座は始まって数ヶ月経っていましたが、佐藤先生が遅れた分を補ってくださいました。佐藤先生の授業は興味をひく面白さを持っていて、ただ暗記するのではなく、自然と身につく授業でした。看護学を入試の為に短時間で習得するにはあまりにも幅広い教科ですが、SANのテキストは先生が独自に作られたテキストで、効率よくコンパクトにまとめられていて、素晴らしい教科です。それと、佐藤先生の言葉が私のやる気をさらに引き起こし、今までにない勉強中心の生活が始まりました。佐藤先生にやるように言われた内容を忠実にやり遂げた結果、本番の試験でもずばり的中していました。この瞬間、先生を神だと思いました。その結果、山梨大学の合格を勝ち取る事ができました。この予備校が私の人生を変えてくれました。本当にありがとうございました。

長野県看護大学看護学部 K・Cさん

SANは、夏季講習からでしたが過去問題を中心に傾向を掴むことができ、そこから知識を深めることができました。佐藤先生の解剖生理は、とてもわかりやすく看護の授業は、とても素晴らしいです。それに、ひとりひとりのニーズをつかみいろいろな悩みを親身に聞いてくれとても温かい学びをすることができました。いつも不安でたまらないなかで、佐藤先生の元気なパワーは本当に勇気ができました。最後まで諦めずにやれば、努力は絶対実ることを感じました。本当にSANにきてよかった～！！

筑波大学医学群看護学類

横浜市立大学医学部看護学科

秋田大学医学部保健学科看護学専攻 N・Yさん

私は、昨年大学編入に失敗し今年こそは絶対に合格する!!という思いで取り組んできました。8月から勉強のみに集中できる環境を整えたのですが、本当に合格出来るのだろうか・・・と不安は大きくなるばかりで、そんな時友人の紹介でSANを知り夏期講習から受講しました。もっと早く知っていれば1月から通ったのにい～!!と心底思いました。佐藤先生の授業は、ただ暗記するのではなく根拠をしっかりと押さえ、理解できるように導いてくれます。苦手な解剖生理も、なるほど!!と納得し学習することが出来ました。受験直前に行われた確認テストも、本試験に出ました!!佐藤先生は本当に素晴らしい先生です。何処を探してもこのような先生はいません。授業中には、ギャグを連発し皆を笑わせ和ませてくれます。受験生にとってメンタルはとても大切です。SANに行くといつも元気をもらい頑張るぞと気合が入りました。

SANは本当にアットホームな雰囲気です。筑波大学から追加合格の連絡が来た時は、本当に信じられなくて佐藤先生に「本当に私で良いんでしょうか？」とネガティブなことばかり言ってしまいましたが、先生からの「あなたで良いんです。」の一言が本当に嬉しかったです。SANで頑張った1ヶ月は濃密なものでした。看護学、英語、小論文全て受講して本当に良かったと思います。ご指導いただいた先生方に本当に感謝しています。ありがとうございました。

そしていつも私を支えてくれ共に頑張った大切な友達は、私の宝物です。

最後の最後まで諦めないことの大切さを学ぶことができました。これから困難なことがあっても佐藤先生の、いつも前向きな姿勢を思い出して頑張っていこうと思います。本当にありがとうございました!!

京都府立医科大学医学部看護学科

山梨大学医学部看護学科

名古屋大学医学部保健学科看護学専攻 H・Iさん

私は、高校の時大学受験を失敗しました。悔しい気持ちと、助産師になりたいと思う強い気持ちがあり、編入学を志しました。SANを受講しようと思ったのは、編入学の合格率が高いこと以上に、授業のレベルが高いと聞いたからです。初めて横浜校の看護学の先生とお会いしたとき、圧倒されるような目力でした。そして、同時に先生についていけば大丈夫という安心感を与え先生の授業は根拠を大切にしました。根拠が分かるから、丸暗記ではなく他の応用問題にも対応できる力が身につきます。繰り返し繰り返し、丁寧に教えてくださいました。

私が最も大切にしていたことは、先生がここはきちんとやりなさい!とおっしゃったところは必ずきちんとやって本番に臨むことで、先生のおっしゃったひとつひとつのことを振り返りながら試験直前まであきらめませんでした。先生の信念を持った強さと優しさは、自分ではどうにも出来ない受験間際の辛い時期を乗り越えさせてくれます。先生の、看護学は国家試験や編入学に受ければ良しというものではない、という言葉が胸に響きます。先生の授業は看護学の点数があがるということ以上に、勉強に対する姿勢を学べる授業だと思います。

【これから編入学を志す方々へ】辛い、苦しいと思えるあなたがいるのならば、それはまだ限界じゃない、限界は何も感じなくなって初めて訪れる (名無し人)

秋田大学医学部 保健学科看護学専攻 M・Eさん

私は、進学しようと思っていましたがどういう風に勉強したら良いかわかりませんでした。そんな時に学校の先生からSANをすすめられました。4月から入学しましたが、もう1月から授業は始まっていました。そのため、国試対策、大学編入と国試の夏期講習を併用して受講することを先生は考えてくださいました。実習と勉強を両立するのはすごく大変でしたが先生の授業はとてもわかりやすく楽しいです。受験が近くなるとすごく不安な気持ちになりましたが、先生がアドバイスや元気をくれました。そして、先生の出るぞと教えてくださったことは本当に試験にできました!!

すごすぎます!合格できたのは先生がいたからだだと思います。受講して心の底から良かったと思います!本当にありがとうございました。

長野県看護大学看護学部看護学科

山梨大学医学部 看護学科

N・Kさん

私は職場の後輩からの紹介でSANという場を知り、佐藤先生に出会うことができました。そして、第一希望の大学に合格できるという夢のような結果を手にすることができました。夏期講習からの参加でしたが、暖かく迎えてくださった先生に感謝しています。7、8月は試験が迫るのに、できの悪い自分、不安、焦り、緊張、と精神面がガタガタでした。一人になると、マイナスなことばかり考えて暗くなるばかり…。でもSANに行くと講義が終わって帰る頃には、やる気と元気が湧いている自分に変わっていました。佐藤先生の明るさと、身につく講義、そして『絶対合格!!』と先生がいつも授業中に気合いを入れてくれたことで、自分にプラスのホルモンを分泌させてくれました。『絶対合格という気持ちは誰にも負けない』という気持ちを持つことは、受験するときの力になります。佐藤先生の授業は不思議なくらいスウ〜ッと頭に入ってきました。加えて、学ぶことが楽しいと感じました。先生の講義が聞けた私は幸せ者です!!

それから、SANの卒業生の皆さんからのお話や、目標に向かって一緒に頑張ってきた仲間には本当にたくさん励ましもらいました。一人きりでは、途中で諦めてしまったと思います。皆々様、本当にありがとうございました！！

『目標に向かって、最後まで諦めない。』これからも、この言葉を忘れずに頑張ります。

群馬大学医学部 保健学科看護学専攻

長野県看護大学看護学部 看護学科 T・Cさん

私は高校の時に大学受験に失敗し、専門学校に入りましたが高校の友達は皆大学に通っていて羨ましいと思ったのと同時に悔しさがありました。そのことから編入を決めたため、SANに通い始めた頃はただ大学に行きたいということしか考えていませんでした。しかしそのような動機では合格しないということから教えていただき、大学に行ったらどんなことを学びたいのか、将来どんな保健師になりたいのかなど、今までの自分の悪かった点や将来のことを真剣に考えるようになりました。横浜校の看護学の先生の授業は例を出して説明してくださるので、参考書を読んでわからなかったところでもすぐに理解することができました。先生の授業は本当にわかりやすいので、教えてもらったことをその後自分がやるかやらないかだと思います。

合格したときは本当に嬉しく、合格発表の後一週間は私の回りに花が飛んでいました。苦しかったけどがんばって良かったと思います。本当にありがとうございました。

弘前大学医学部保健学科看護学専攻 K・Mさん

合格通知届きました☆ 嬉し泣きい。。

臨床3年目、人が足りないからとの理由で休み希望も受け入れられず、夜勤明けの講義は眠いし、講義の後の仕事は辛いしで、何度も辞めてしまおうかと思いましたが、こんなわたしでも国立の大学に編入できることになりました！！

きっと先生からの『あなたは強い』と言う言葉と、SANで出会った一緒に編入を目指す友達の励ましのおかげだと思います。先生の口癖、「全員絶対、合格」の言葉は本物！

看護学はもちろん、英語も知れば知るほど楽しくなり、本試験ではこれまでの勉強が十二分に発揮されました。SANで勉強した内容が試験にもたくさん出ました！！

今度は大学で「充実してます」メール送ります！

埼玉県立大学保健医療福祉学部 看護学科

東海大学健康科学部 看護学科 N・Kさん

「大学に行きたいな・・・」と漠然とした気持ちで受講を始めました。

仕事は続けており勉強との両立は不器用な私にとって難しくどちらにも集中できませんでした。しかし「講義は休まないようにしましょう」と心に誓い仕事の都合をつけ通い続けました。

佐藤先生の看護の講義は興味深く、知らなかったこと、そうだったんだと再確認したことなど、先生の知識の深さに感心をし、講義は今後の看護に生かせる内容ばかりでした。しかし、講義を聞いているだけでは自分の知識にはならないと思い、仕事を減らし編入試験に向けて集中できる環境を作りました。自己学習はSANで使用しているテキストの内容を理解し、先生の講義を思い出しテストを繰り返し勉強しました。おかげで合格することができました。SANの講義は試験に足りないところがありません。素晴らしい講師がいるSANに通えたこと、ご指導して下さった講師の方々、一緒に学んだ皆さんに感謝します。ありがとうございました。

東海大学健康科学部 看護学科 S・Mさん

41歳。3人の母親で産業保健に従事しています。40歳を向かえたある日、今までの自分の生き方、そして今後の人生について真剣に考えました。保健師になりたいという夢を持ちながらチャレンジせずに20年間過ごしてきた自分。「あの時頑張ればよかった」と後で後悔する人生を選ぶのか、年齢なんか忘れてチャレ後20年も現役で働けると思ったら、やっぱりチャレンジするしかないと思いを決意しました。とにかく今年は受験までこぎつける事が目標で、合格は来年以降の目標とっていました。独学では自信がなかったので、インターネットで予備校を調べてS・A・Nのホームページに出会いました。他の予備校と違いアットホームな印象を受け通学することになりました。横浜の看護学の先生は、私よりずっとお若いのに豊富な知識と経験はさることながら授業はユーモアを交えたわかりやすい内容でした。根拠をしっかりと教えてくださるので、どんな問題でも応用が効き、また現場に戻っても役に立つ内容でした。こんなに勉強が楽しいと思ったことは初めてです！

受験に成功したことと同じくらい先生の授業を受けられた事は価値ある経験です。

今年は受験にチャレンジできれば目標達成、来年合格できればと考えていたのに先生の励ましや教室の皆さんの頑張りに刺激を受け、予定より早く合格できました。

この半年間は本当に忙しい日々でしたが、目標に向かっていくときはどんな事でも乗り越えられるものですね。第一希望、一校受験、一発合格は看護学の先生、英語の先生、小論文の先生、教室の仲間達のそして家族の協力のおかげです。本当にありがとうございました。

神奈川県立大学保健福祉学部 看護学科

千葉大学看護学部 看護学

浜松医科大学医学部 看護学科 Y・Tさん

看護師になって13年目、今後も仕事を続けるにあたり組織を牽引していくにふさわしい教育的背景を身につけたいと考え、看護大編入を志しました。

以前、お世話になった看護職の先輩の方から佐藤先生のことを教えていただき、S・A・Nの門を叩きました。その前年に他の予備校のテキストを利用したことがあったため、S・A・Nのテキストに目を通したときには大変な衝撃を覚えました。編入試験だけでなく、看護師国家試験、保健師助産師学校受験に必要なあらゆる範囲があますところなく網羅しており、まったく無駄な記述が見当たりません。編集部ももたずに佐藤先生がお一人でこのテキストを作成されたのかと思うと、それだけでこの予備校の力の大きさを感じました。

そして、私の合格に多大な力を与えてくださったのは何といても英語の講義です。現役の学生に混ざって英語ができるのかどうか不安もありましたが、英語の授業は大変理解しやすく、また多くの合格者を出してこられた先生のご経験から、的確な情報を提供してくださるので効率よく学習でき、自信をもって受験にのぞむことができました。仕事を続けながらの受験で時間も十分にとれず、通勤時の車内を必ず英語の復習時間と決めていましたが、着実に自分に力がついていくのを実感できました。本当に素晴らしい先生に出会うことができました。本当にありがとうございました。

これから、編入を目指す方にはお伝えしたいと思います。

努力もちろん必要です。加えて「一流の講師」「一流の教材」に関してはどうか賢い選択をしてください。S・A・Nがあなたを夢に導いてくれる場所です。

神奈川県立大学保健福祉学部 看護学科

静岡県立大学看護学部 看護学科

青森県立保健大学健康科学部 看護学科 F・Mさん

最後の合格発表で、合格の知らせが届きました。最後の最後！長かった……。それまでは、不合格続

きで、不安な毎日を過ごしていましたが、今喜びを噛み締めています。

先生の「合格すれば、喜びが待っているよお！」という言葉思い出しています。佐藤先生を知り、S A Nを知ったのは、看護学校の授業でした。今考えると、学校で佐藤先生に出会えたことはとても幸運だったと思います。

大学に行けたら良いなと漠然と思っていた私は、佐藤先生の授業、言葉一つひとつを通して、この先生について行けば合格できる！と確信し、1月から受講しました。

4月からは、実習が始まり大変なときもありましたが、私が一番辛かったのは8月に入ってからでした。身体的にも精神的にも疲れてしまい、このまま勉強して本当に合格できるのか、今何をすれば良いのか分からなくなりました。そんなとき佐藤先生は、「絶対合格できる！」と時には優しく、時には厳しく励ましてくださり、そして、同じ目標を持った仲間にも励まされ、時には励まし、乗り越えることができました。実習との両立は大変でした。しかし、S A Nに行くとは大変なのは自分だけでは無いと思えました。実習が辛くても、S A Nに行くとは元気をもらえました。S A Nで頑張ったからこそ、勝ち取った合格だと思えます！「受験は一人の孤独な作業です。」と先生はおっしゃいました。確かに、本番では仲間もライバルで孤独な戦いです。しかし、そんな戦いに負けないような知識や、精神力をS A Nで身につけることができたと思います。

S A Nで学んだ時間、得た知識、共に努力した仲間は最高の宝です！S A Nに来て本当に良かったです！！本当にありがとうございました！

弘前大学医学部看護学部

岩手県立大学看護学部 看護学科 K・Mさん

ご報告が遅れましたが二つ目の合格を手にする事ができました。

国公立で二つ以上の合格を取れたらいいなあとなんとなく思っていたけど働きながらの受験で達成できるなんて夢みたいで辛くてもがんばってよかった。

これから大学でいろんなコトに挑戦したい。A Nはどここの予備校より素敵なところだからこれからすごく有名になって一杯生徒が増えてしまうハズ！

迷ったり諦めたりせず早く SAN 行って相談したほうがいいよ。

先生。本当にありがとうございました。合格したコトと一緒に喜んでくれたことがなにより嬉しかったです。

聖路加大学看護学部看護学科

慶応大学看護医療学部看護学科 T・Aさん

今回、慶應義塾大学に補欠、そして無事、聖路加看護大学には合格しました！

私は SAN では一人だけ普通の総合大学の心理学科の学生で、第2次編入でした。同じ境遇の人がいないという不安はとてもありましたが、小論文、英語の先生方に個別に相談ができました。他の学生のみなさんは現役で働いていたり看護の学生だったり、休憩中の話を聞いていると実際の看護の現場の話もよく出てくるので、自分も将来こうなりたい、と想像出来た事がとてもプラスになったと思います。現役で働いている方は仕事の合間をぬって勉強されているので、私は自由な時間が沢山あるんだから愚痴言わずに頑張らなきゃと自分に厳しくなるためにもいい環境でした。

入学後は勉強が本当に大変だと思えますが、今までの4年間の大学生活も生かして、私らしさを失わずに、とにかく食欲に頑張っていきます！

東海大学健康科学部 看護学科 K・Yさん

病院で働いて7年たつ私は、保健師を目指して大学受験をするために上司から紹介された SAN に通う

ことにしました。初めて横浜校の看護学の先生にお会いしたときから先生のパワフルな人柄にすっかり虜になり、通うのが楽しくなっていました。臨床経験を持つ先生から教えてもらうことで、イメージがしやすく自分の中にスルスルと根柢が入り込んでくる感じでした。ペーパー上だけでなく、現場でも活用出来る知識なので職場でもフル活用させてもらいました。

そんな素晴らしい知識を得られただけでなく、大学合格までできるなんて、本当に先生方には感謝しています。と仕事の両立も時にはハードなこともありましたが、先生方の細かなフォローのおかげで挫折することなく合格まで辿り着きました。

いつもいつも支えてくれて、そして自分を信じさせてくれて、本当に心強かったです。ありがとうございました。先生に出会えたことは私にとって、とても素晴らしい経験となりました。これからも、パワーをもらいに教室に遊びに行かせてもらいますね。

旭川医科大学医学部 看護学科

大阪市立大学医学部 看護学部 N・Aさん

最後の最後にして旭川医科大学の合格切符を手にする事が出来ました！！

本当に信じられません！！

私は、関東周辺の大学に悉く断られ（笑）、卒業後、編入試験 1 本だけに絞ってやってきただけに、正直落ち込みました。でも、なんとか親を説得し、どうしても結果を残したくて、これから受けられる数少ない大学に望みをかけて挑みました。一緒に編入を目指してきた仲間はみんな合格し、一人だけ最後まで決まらなかったのでもとても不安でした。しかし、最後まで佐藤先生は信じて応援してくださり、なんとか合格することが出来ました。

私が関東の大学に合格できなかったのは、自分の意思の弱さと精神力・集中力のなさだと思います。他の仲間は、実習や仕事と並行して編入試験勉強をやっていましたが、私は編入試験だけだったので時間はたくさんありました。しかし、それが逆に気持ちを墮落させてしまい、気が緩み、やるべきことをやらなかったり後回しにしたりして有効に勉強をしませんでした。

本当に恵まれた環境にあったのですが、編入に向けて気持ちを保ち続け、毎日勉強だけをこなすのは難しいものがあります。そんなとき、SANに来てみんなの頑張っている姿や先生の言葉には元気づけられ、“私も頑張らなければ！”という気持ちにさせられました。勉強は、一人でやるのには限界があります。最後まで乗り切るためには、何かしらの支えが必要です。サポートして下さる先生方や、一緒に目標を目指して戦う仲間がいることで、気持ちが引き締まったり、大学編入への気持ちを再認識させられました。しかし、一番大事なのは、“合格するんだ！！”という強い意志と、どんなに不合格になってもどんなことがあっても最後まで諦めない気持ちだと思います。最初は小さかった思いでも、佐藤先生に相談することで大学に行きたいという気持ちが徐々に大きくなり、より具体的な形になっていきます。佐藤先生はその授業もさることながら、そういった精神的なケアもしてくれます。私は、佐藤先生の的確な指摘や巧みな話術にかけられ、精神本当に、佐藤先生には最後まで心配かけてしまいました。でも、SANに来て、佐藤先生に出会えて、そして、いつも気にかけて声をかけてくれたり、アドバイスをくれた一緒に戦ってきた仲間に出会えて本当に良かったと思います！！これから目指す人にもぜひ体験してもらいたいです！！

受験が終わって、私は今、あの時こうしていればよかったなとか、もっと勉強していればと沢山後悔しています。これから目指す人には後悔してもらいたくありません。後悔しないためにはまず行動することだと思います。そして、誰かに相談してください。相談する人がいてもいなくても、SANに来て佐藤先生に相談すれば、あなたの道はきっと開けてくるはずですよ！！

●2008年

青森県立保健大学健康科学部看護学科 M・Cさん

進学をしたいと言う思いは看護学校に入学した時からありましたが、無理だろうと諦めていました。2年生の臨地実習を通し、やはり保健師になりたいと言う思いが強くなり、3月に佐藤先生に電話をし、相談をしたところ、「大丈夫、行けるよ」と力強い言葉をいただき、受験を決意しあまり成績が芳しくなかった（笑）私は実習との両立が本当に大変で、どうしたら良いのか分からないこともありましたが、しかし、先生の応援、励まし、そして先生の明るさで自分も前向きになり諦めずに最後までやり通せたと思います。た、ここでは同じ目標に向かって頑張っている仲間達に出会えます。働きながら通う人や実習中の人、辛いのは自分だけじゃないと感じ良い刺激の場所となりました。合格した時に電話で報告しようとしたところ、あまりにも嬉しかったためうまく言葉で言い表すことが出来ず先生に落ち着いて！と電話越しに言われるほどでした。本当に嬉しくて夢ではないのかと疑ってしまうほどでした。ずっと憧れであった大学の夢を叶えてくれた佐藤先生には本当に感謝しています。

青森県立保健大学 健康科学部 看護学科 M・Nさん

「大学生」になりたい。そんな憧れはありましたが、私には絶対無理だと決めていました。佐藤先生のごことは、学校の講義で知りました。先生のところなら、保健師または、助産師の専門学校に進学ができるかもしれない。そう思い、軽い気持ちでSANの扉をノックしました。教室には、たくさんの大学合格者の名前がはり出されていて、なんてところにきてしまったのかと驚きました。同時に、先生の講義をうけたならば、私にもできるかもしれない。そんな気持ちにもなりました。大学を卒業することのメリットや、キャンパスライフのお話を聞いていると、憧れであった大学生になりたいという気持ちが強くなり、絶対に合格しようという思いになりました。私は4月からの入校となったため、はじめのうちは土曜・日曜と通うことになりました。実習は始まるし、本当に苦しい毎日でした。学校では、「あなたには無理でしょ。」という心無いことを言う人もいました。加えて、英語がチンプンカンプンで予習していてもさっぱりわからないという日々が続き、やっぱり私には無理なんではないかと何度も挫折しそうになりました。そんなとき、佐藤先生は心から私を支えてくれました。忙しいなか、私と向き合い、話をじっくりと聞いてくれました。どれだけ先生に救われたか、言葉ではとても、表現できません。

「最後まで絶対にあきらめない！！」この言葉を胸に刻み、最後の講義までやりとげよう。それで、結果が伴わなければ、それでもしょうがない。とにかく、やるしかない。残りの1ヶ月はそんな気持ちで乗り切りました。

合格の知らせは、佐藤先生とSANのメンバーからのメールで知りました。実習中だったので、そのメールを控え室で確認したときには、大声で「やったあ！」と叫びたい気持ちを必死におさえました。SANに電話をして先生の声を聞いたとき、涙があふれました。本当に、あきらめなくてよかったとつくづく感じました。私が、大学へいけるなんて、今でも信じられません。佐藤先生と出会えて、私の人生は大きく変わろうとしています。最後まであきらめなければ、誰にでもチャンスをものにすることができるのだと実感しました。

●2007年

兵庫県立大学、大阪市立大学、島根大学、北海道医療大学、長野県看護大学、千葉大学、埼玉県立大学
新潟大学、横浜市立大学、群馬大学、新潟県立看護大学、信州大学、筑波大学

兵庫県立大学 看護学部 A・Nさん

2月下旬の合格の知らせ。心が一瞬揺らぎました。なぜなら国際看護を勉強したいと思っていた私が通学しなかった大学の1つだったからです。

しかし他大学に通学することを決めていたため、残念ですがお断りすることになってしまいました。

9月に受験して2月いや3月に合格通知を受け取ったことは少し遅いかとは思いますが、そんなことがあるんだなあ実感しつつ、同時にうれしくもありました。これから受験する皆さんも最後まであきらめないでください。最後まであきらめないことも合格をつかむ事の1つだと思います。そんなあきらめないことを再度思い起こしてくださった SAN の先生方に感謝いたします。これから受験する皆さんも最後まであきらめないでください。最後まであきらめないことも合格をつかむ事の1つだと思います。そんなあきらめないことを再度思い起こしてくださった SAN の先生方に感謝いたします。

大阪市立大学 医学部看護学科 M・Eさん

私は去年1度受験をしましたが、実習でいっぱいになり、受験への準備が十分にできず合格出来ませんでした。そのまま就職も考えましたが、中途半端な状況だったのでもう1年頑張ろうと考えていた時、SANを知りました。以前佐藤先生の講義を受けた事もあり、ここでがんばってみよう思いました。SANには辛いとき、悲しいときのスパイスがあります。新たな気持ちで勉強に臨むことができました。先生の授業ポイントは試験に向けてピントがきちんと合っていて先生のおっしゃる通り勉強に励めば合格に近づく合格への道は自分を知る事、信じる事、諦めない事だと思います。

看護も英語も、模範解答と自分の答えがどう違うか、自分の答え方・考えの特徴などを理解し、改善していく必要があります。小論もどう的確に自分の考えを伝えるか、そして自分の考え方と人の考え方の違いに気付き、対策をねっていけばいいと思います。そして、後は試験の際上手く自分を出せる様、ひたすら問題を解くなど自分にあった勉強をしていけばよいと思います。あとは自分を信じ、最後まで諦めない事です!

SANは、一緒に学ぶ友人とも共に励まし合い頑張れる所です。私はSANでいろんな学びが出来本当によかったと思っています。

島根大学医学部看護学科

北海道医療大学看護福祉学部看護学科 H・Sさん

私の受験は長期戦で、何度も受験に失敗してしまいました。平日実習中の私にとって、不合格という知らせは、本当に辛いものでした。特に、予備校のカリキュラムが終了した9月からの勉強は孤独な作業そのものでした。しかし、佐藤先生はいつまでも私のことを心配し、何度もメールで励ましてくれました。そして、受験が上手く行かない時は SAN へ行き、沢山の元気をもらいましてこの先生とのやりとりがあったから、私はあきらめないで大学受験を続けることができました。だから、最後まで迷惑をかけたが、こうして先生に合格の報告を出来る事を本当にうれしく思い SAN では、困ったことや悩んでいることをメールで相談できるところが魅力です。私は、SAN から帰宅するときに、いつも笑顔でいる自分に気がきます。カリキュラムが終了してもここまで熱心に指導してくれる予備校は他にないと思います!!

私は、英語が不得意で授業についていけませんでしたが、しかし、授業の準備である長文を辞書で訳して

くることで、英語力がつきました。私が予習をして授業に取組めたのは、他の人の足を引っ張ってはいけないという気持ちと毎回授業を止めて、私に丁寧に教えてくれる先生がいたからです。看護学は授業中には出来なかった小テストを、自宅で何度も解いて解けるようになったときに、今まで分からなかった問題が理解できるようになり、看護の世界が広がった瞬間を今でも覚えています。また、小テストや過去問演習で解いた問題と全く同じ問題が、本試験に出題した事もありました。佐藤先生の勘の鋭さはピカイチです。ここでの勉強生活を忘れずに大学生活を頑張りたいと思います。

長野県看護大学看護学部 S・Nさん

将来、国際保健活動に関わりたいと思っていた私には、この大学の国際看護学論は是非学びたい分野でした。実際、試験は難しく穴埋め問題が多く正確な知識が求められるものでした。ですが、SANで毎週行われた復習テストで鍛えられたお陰で、大事なポイントは抑えられており、なんとか解答出来ました。英語でも過去問題をしっかり添削してもらえたお陰で、本番でも実力を発揮する事が出来ました！そしてSANで得た一番の宝は目標に向かって一緒に頑張った仲間達です。感謝します。

千葉大学看護学部看護学科

埼玉県立大学 保健医療福祉学部 看護学科 S・Fさん

合格通知を前に、今思うことはただ一つ。「決して、あきらめないこと」

私は仕事のストレスは勉強に集中することで忘れ、受験のストレスは仕事に集中することで発散させてきました。自分の選んだ道に後悔したくない意地もありましたが、久しぶりに机に座って受ける授業も、新鮮で楽しかったです。そして、働いている今だからより深く理解できることや改めて感じる身体への疑問が勉強をさらに楽しくしてくれました。

もし、仕事をしていくなかで「これ、どうしてかな？ どうしたら、もっといいケアができるのかな？ もっと、勉強したいけど、今更私に、大学受験は無理よ！！」と考えて立ち止まった人がいるならば、SANのドアを一度たたいてみてください。あなたの疑問の一つ一つが線で結ばれ、今まで発見できなかったなにかを発見できるはずです。それが、合格への鍵だと私は思います。

私は、SANでの多くの授業を通じて、自分が大学で具体的に何を学びたいか、今後どんな看護師になりたいかを見つけられたと思います。看護学の授業後の復習は、覚えることではなく理解することに重点をおいて行いました。理解したことは、忘れにくく、様々な角度からの試験問題にも対応できるからです。英語は、予習と復習だけに集中して勉強しました。ほかの参考書や単語帳は一切やりませんでした。小論は、授業中集中して終わらせ、宿題をなるべく作らないようにしました。1日24時間しかなく、勤務をこなしながらいかに有効に時間を使うか、私は効率よく受験勉強を行うために、それぞれの授業を大切に、移動時間も集中して勉強しました。また、一緒に学べるよき友がいたことや大学生活でやりたいことをより具体的に想像することも受験を前向きにがそれでも、前向きになれない日は、復習もさぼって寝てました。私は、やるときと遊ぶときのメリハリを考えてこの半年乗り切りました。最後に、この場を借りて、ここまで支えてくださったSANの先生方や多くの人々に感謝申し上げます。また、私の千葉大合格には、日本コンチネンス協会での学びが不可欠だったと思います。日本コンチネンス協会での活動を通じて、今年は老年泌尿器科学会に参加するなど多彩な経験とそこで出会った多種に渡る多くの仲間からの刺激が私を合格へと導いてくれたと思います。また看護師としても、このような活動に参加することで、日頃の自分の看護を見直すよい機会になっていたと思います。そして、ここで学んだ排泄ケアの楽しさと看護の奥深さが、私の受験への原動力になったと思います。

新潟大学医学部保健学科 O・Kさん

この大学の合格通知は全く予期しないものでした。倍率は関東圏よりは若干低めでしたが、英語が難し

かった為、実は無理だろうと思いながらの受験でした。封筒が届いた時などは、「不合格通知送るのにA4の封筒なんか使わないでよ」と開ける前に思ったほどです。その後中身を見て叫んだのは、言うまでもありませんが…(笑)。そんな私が受験を思い立ったのは去年の夏頃でした。勤めていた病院はこの時点で退職しアルバイトをしていたため、時間はありましたが久々の勉強ということもあり、何をしてもよいのわからない私にとって、この予備校は単に勉強を教わる場としてではなく、勉強法を提示し、学習のペースメーカーの役割を持っていました。この予備校に通うことを決めた時、私はぴったり予備校の授業についていこうと決めていたので、その週の授業分の内容を復習中心に勉強するようにしました。その際私は過去の授業をふりかえりながら学習するように心掛けました。例えば類似した内容が出たときや関連した内容の時などは必ず手前のページを開くようにしました。テキストは見やすく記憶に残りやすいように絵を入れたりテキストに全てを書き込むようにしていました。しかしながら私のいけなかった事は、元々苦手意識の強かった英語を後回しにしてしまった事でした。授業の復習も疎かになりがちだったことは今になって悔やまれます。一番大切な事は自分の学習欠点を見抜き、叱咤してくれる良きアドバイザーを持つことだと思います。もし私と同じように怠けてしまう人ならば、この予備校の先生方や教室の仲間と話をすることはきっと役に立つと思います。受験は力試しの場でもあり、成長の場でもあります。私もこの経験を今後の大学生活に活かし、実りの豊富な二年間にしたいと思います。

横浜市立大学医学部看護学科 O・Aさん

私がSANを訪ねたのは5月のゴールデンウィーク。佐藤先生には開口一番「まあ、どうしてもっと早く来なかったの」と笑顔で言いました。大学を志しながらもノウノウと実習前の一時を遊んでいた私は、時間、実力、心構えまでも完璧に出遅れていました。それから何度先生に「厳しい」と言われたか…しかしそれを遥かに上回る多くの励ましと勇気をもらいました。先生は現実を率直に伝えてくれると同時に、それ以上のやる気を与えてくれます。私はその先生の「喝！」のお陰で軟弱な意思を奮い起こし、頑張ることができました。夏休みを迎え、焦りや諦めといった精神面の葛藤が様々ありましたが、それも佐藤先生の励ましで何とか持ち堪えることができSANは看護学の授業は勿論ですが、英語も取り扱われる文章や実際の講義内容が充実していてピカイチです。

出される課題を丁寧にこなし、復習していけば力が付きます。こんな私が大学合格。まるで何かの宣伝のモニターのようですが、SANでそれを叶えることができました。SANと出会うことができ本当に良かったと思っています。

群馬大学医学部保健学科 看護学専攻 S・Nさん

合格を諦めていたので合格発表は見に行きませんでした。翌日、外出先に自宅からの知らせで「合格通知」が届いているとのこと。誰かのいたずらではないか、最初は信じられませんでした。友人にHPにて番号を確認してもらい実感が出てきました。去年は不合格だったので、今年こそは合格したいと思っていました。でも仕事と勉強の両立は大変でした。思うように勉強が進まず、毎週行われる確認テストはひどい結果でした。そのような時は先生から叱咤激励を受け、追い込まれながらも、少しでも多く取りたいと思い頑張りました。

また、授業を欠席した際はわざわざ資料を送って下さり大変心強かったです。英語では、基礎が出来ておらずボロボロでしたが、先生が丁寧に指導してくださり理解が深まっていきました。途中何度も辞めようと思いました。友人達の多くが子供を出産し、母親になっていく中、「なぜ、自分はこんなことをしているのだろうか」という思いが度々私を苦しめました。その度に自分の将来の目標を思い浮かべ、また先生方にも勇気付けてもらいました。また、一緒に頑張ってきた仲間達の力も大きかったです。自分一人では絶対合格できなかつたでしょう。SANに通うことが出来、本当に良かったです。

これからも一人前の医療者になれるよう精進していきたいと思っています。

横浜市立大学医学部看護学科 H・Mさん

合格がわかった時は、驚きと感動で胸が一杯で、興奮冷めやらぬまま佐藤先生に電話している自分がありました。佐藤先生や先生方のお力無しには、得ることの出来なかった合格です。本当にありがとうございました！！

大学編入を目指すと決めてからすぐに、看護学校での実習が始まりました。受験勉強と実習の両立は、決して楽ではなく、疲れて眠ってしまっただけは、後悔する日々でした。しかし、SANに行くと、熱心に指導して下さる先生方や、色々な状況で頑張っているクラスメイトの姿を見て、頑張らなければ！と強く励まされ、ここまで来ることが出来ました。過去に大学受験に失敗していることもあり、十分に自信が持てずに受験本番が近づいていましたが、先生の励ましの言葉を思い出し、とにかくギリギリまで粘ろうと、受験当日の電車の中でも、SANでやった小テストをずっと見返していました。小テストは、大切な所がギュッと詰まった勉強の必需品。最後の最後まで助けられました。

SANでの勉強は、「なるほど！だからこうなるんだ！」と頭の中が整理整頓され、勉強が楽しくなるような講義です。大学に進学してからも、先生の講義を思い出し、更に多くのことを学んでいけるように頑張ります！

新潟県立看護大学看護学部 O・Kさん

私は、最初は保健師専攻科を考えていましたが、この予備校と出会い編入を決めました。勉強は大変な時も多いですが、先生方の興味深い授業と暖かい励ましに支えられ、無事合格にこぎつける事ができました。私は幸い時間には恵まれていましたが、それでも仕事の合間に予備校の予習復習を半年間続けるのは楽ではありませんでした。やめてしまいたいと思うこともありましたが、結果が返ってきた瞬間それまでの苦しさは忘れて、合格通知を手にはガッツポーズをしていました。

合格の喜びは頑張った分だけ大きく感じるものだと思います。私だけでなくこれからも沢山の方がこの感動の瞬間を味わえることを願っています。

横浜市立大学医学部看護学科 A・Nさん

看護学は技術だけではなく、人間を対象としているとても奥の深い学問であり、看護学を通して様々な分野も勉強したいと思い、4月から佐藤先生の看護学の授業、英語の授業、小論文の授業に通い始めました。

私は臨床からも数年、そして日本からも数年離れていたこともあり、看護学授業当初の確認テストでは30問中『5点』でした。愕然としました。そこからは毎回の確認テストで20点以上を目標に勉強し始めました。佐藤先生の授業はかなり速いペースで進みます。しかしそこには根拠を含めた大事な部分が多々あり、聞き逃さないようにしました。私は受験前に何回も先生の確認テストと過去の確認テストを繰り返し復習しました。だから毎週の確認テストは私を合格に導いてくれた1つだったことは確かです。そして他大学の過去問題を多く解くことにより、同じ答えでも色々な問題の出題があることがわかり、多くのヒントになりました。英語では毎回の授業で私がとぼけた間違いをしても先生が根気よく文法説明をしてくださいました。それから先生の『決して最後まであきらめない』との話を聞かせていただき、自分の心を強くもつことができました。

小論文の授業では大学志望動機の課題では自分が言おうとしていることを明確に導いてくださり、また、自分がこんな人間だったのかと発見した授業でした。そして同じ課題でも何回も書き直しても先生が丁寧かつ的確に、時には厳しく指導してくださいました。先生に励まされ、おだてられ、そして一緒に学んできた仲間と情報交換し、お互いを励ましあい受験に向かうことができ本当によかったと感じています。人生の転機となる大学編入学をする時期にSANに出会えたことを感謝します。

信州大学医学部 保健学科看護学専攻 U・Rさん

私は合格の知らせを聞いても、自分の目で合格掲示板を見るまでは合格が信じられませんでした。私は試験の2ヶ月前までは、仕事を続けながらの受験勉強でした。そのため自分の思い通りに勉強を進められないことも多く、とても不安でした。

そんな中、SANで毎週行われる確認テストはモチベーションを高めるのに良い材料となりました。受験直前になると、いくら勉強をしてもまだ学びたいと思うことが次々に浮かんできて焦りました。そのような日々の中で、佐藤先生からの励ましのメールは心の支えになりました。

私にとって、SANでの授業はとても貴重なものでした。インパクトのある授業は印象に残りやすく、試験の最中も先生の言葉が浮かんできました。またSANに通うことで、同じ目標に向かって頑張っている仲間に出会えて良い刺激にもなりました。毎週の記述テストで記述に慣れることができ自信を持って答えを書くことができたことや、英語の問題をたくさん解いたことで時間がない中でも長文の意味を理解することができたこと、志望動機を何度も書き直したことで自分のやりたい事がより明確になった事が大きいと思います。

自分で決めた編入への道ですが、長く険しいものでした。「なんでこんなに辛いことをしているのだろう…」と泣いたり、諦めそうになったことも何度もあったけど、今まで諦めずに頑張ってきてよかったと思います。合格を手にする事ができたのも、SANに出会えてなかったらなかったものだと思います。合格した今は、達成感と嬉しさ、新たな夢に向かっての希望でいっぱいです！4月からのキャンパスライフがとても楽しみです。

筑波大学医学専門群看護・医療科学類看護学主専攻 Y・Yさん

私が筑波大学に合格・・・！！信じられず、手も声も震え、すぐに先生に電話しました。電話の向こうで先生の喜んで下さる声を聞きながら「現実なんだ」と、初めて実感出来ました。

一昨年受験を志したものの、いろいろなことが重なり途中で受験を断念し、去年は受験もしませんでした。半ば諦めていましたが、やはり大学で学びたい、という想いは強く、知人の紹介でSANを知りました。2月に初めて佐藤先生の看護学の授業を聞いた時、「自分さえ頑張って先生について行けば絶対に合格できる！！」そう確信しました。自分に負けそうな時は多々ありました。でも、先生の授業を信じて、信じきってついて行きました。その結果、去年では考えられなかった筑波大学に合格することが出来ました！看護学の毎回のテストは全て記述式で、○×で回答出来ないのも確かな知識が身につきます。授業は重要なポイントを適切に教えて下さいます。根拠をしっかりと教えて下さるので、手当たり次第の暗記はする必要はありませんでした。英語もSANの先生について行けば大丈夫です。授業で長文を読みながら、ポイントをしっかりと教えて下さいます。また、単語の覚え方も教えてくださるので、ルールさえおさえれば複数の単語を覚えることが出来ました。英語は大の苦手でしたが「最後まで諦めないで」の、先生の言葉を思い出して勉強しました。小論文は、ただ単に文章の書き方を学ぶだけではなく、物事の考え方を多面的に学び考える力をつけてくれた気がします。

今回の合格はSANに来ていなければ得られることが無かったと確信しています。

●2007年

北海道大学、弘前大学、秋田大学、山形大学、神奈川県立保健福祉大学、静岡県立大学、東海大学

北海道大学医学部看護学科 日本赤十字看護大学 W・Sさん

広い視野を持って看護にあたりたいという思いから編入を志しました。その時点で五月末だったので、間に合うのか不安でしたが、先生方に励まされながら頑張ることが出来ました。授業の復習や課題をや

り、調べても分からないところは先生に教わる、という形で取り組みました。ダメモトで臨んだ、第一希望の北海道大学の試験では、試験四日前に授業でテストした看護学の記述問題がそのまま出題されました。合格の知らせに、先生は飛び跳ねて一緒に喜んでくれました。そんな熱心な先生方や、同じ目標を持って勉強に取り組んできた友人に会えて、S A Nに通って良かったです。

弘前大学医学部保健学科看護学科

秋田大学医学部保健学科看護学専攻

山形大学医学部保健学科看護学専攻 O・Mさん

受験勉強は仕事との両立でかなり時間の確保に苦労しました。英語も全く手をつけてなかったので4月からS A Nに行き始めてから学校の授業プラス基礎教材のドリルをやりました。看護学は出れない日はノートを写させてもらったり、帰り道にミニテストの復習をしたり国試の問題を解いたりしました。そして予備校の友達とお菓子食べながら話してストレスを溜めないようにしたりしていました。

周りのひとに受験することを言って応援してもらいました。佐藤先生の「絶対受かるという強い意志」という言葉とプラス思考です。私は予備校の友達を始め先生や友達に支えてもらったので受かったと思います。ありがとうございました。

神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部 F・Eさん

大学編入試験を決意してからあっという間の日々でした。苦しいこともたくさんありましたが、その一つ一つの思いが自分を成長させてくれたと思います。実習との両立に悩み、何度も自分には編入は無理ではないかと諦めてしまいそうになりました。平日は実習で手一杯の日々、土日を利用して編入の勉強をしました。先生の熱心な指導ポイントを押さえたS A Nの講義は、自分の学習意欲を高めてくれました。また講義が終わっても納得いくまで質問に答えてくれ理解が深まりました。

試験前には気持ちが不安になったときも先生方は暖かく支えてくれました。合格が決まり、今は信じられない気持ちや充実感・喜びでいっぱいです。看護大学を目指す皆さん、編入しようと決意したときの気持ちを大切に夢を実現して下さい。S A Nにはそんな皆さんを暖かく、そして熱心に応援してくれる先生がいます。本当にありがとうございました。

静岡県立大学看護学部

東海大学健康科学部

M・Mさん

私は七月から大学編入の看護学の授業を受講し始めました。入学が遅かったため人の倍やらなくては間に合わないと思い毎日10時間以上机にむかってひたすら勉強していました。八月が終わりに近づくにつれ不安と焦りばかりでいっぱいでした。九月からは実習が始まり実習と勉強の両立は本当に大変でした。辛くて佐藤先生に泣き付くこともありました。先生にはメンタル面を強くもちなさい！と背中を押され、私は自分の第一希望校に合格することを夢みて頑張り続けました。結果、本番では自分の力を全て出し切ることができました。合格した時はとても嬉しく涙がとまらなかったです。

辛かったけれど最後まで頑張りぬいたことが合格へとつながったんだと思います。最後まであきらめないこと、自分を信じるのが一番大事なことだと思います。